



いっしょにつくろ

教育長のつぶやき

No.86

2025. 8/29

校章の基本デザイン決定！！

校名と共に校章という大きな決定が昨夜なされました。「みんなで学校を創ろう！」も令和4年6月から開始し、3年という歳月が流れ24回目となりました。幾度となく「決める」という場面がありましたが、昨夜は多分この会では最後の「決める」機会だったと思います。【28名参加】

4月末ごろから募集を始めた校章ですが、ギリギリまで作品が集まらずヤキモキしていましたが、最終的に66点の応募がありました。デザインの説明も読めるようフリガナもふり、夏休み明けに小中学生各自10点選び投票を行う作業を一次とし、66点から半分の33点を選んでもらいました。

そして昨夜は二次・最終審査とし、二次では33点から参加者に各自10点を選んでもらい、5点に絞り込み、最終審査では5点から各自2点を選び、最終的に一番得票が多かった1点を決めだすことができました。

最後に決めだされた1点についても、いくつかの細かな希望が出されましたので、今後デザインを考えた方にも話をお伺いし、若干の変更が可能か調整していく事になろうかと思いますが、とにかく基本案が決めだされたことに安堵しています。

特に校名が「さかえ」という言葉を大切にしたいかった村民の皆さんの思いを大切にしたので比較的一般的な名称になったことを受け、これだけ斬新な歩みで学校を決めてきたので、校章だけは今までに無いようなものであるとありがたい、と考えていました。そういう意味では、校章のイメージとは異なるデザインが選ばれ、良かったと感じています。

さて、出された変更の内容は…

- ①葉っぱの部分をNo.63のように色々な形、色、大きさでもう少し多様性を表すようにしたらどうか。
- ②幹の部分が栄村のSを表すようだが、もう少しSの形にした方がわかりやすい。
- ③学校名など文字を入れるならアルファベットで表記した方がよい。
- ④白黒の方は幹の下部分が閉じているが、カラーの方は閉じていないので、遠目ではブーツのように見える。デザインの意図なのかかわからないが閉じていた方がよい。

というご意見をいただきました。今後これらの意見が反映できるのか分かりませんが、いくつかのパターンを再度作っていただかなくてはならないと思います。

昨夜家に帰り、グーグルレンズで基本原案の図を検索したところ、栄村のデザインという名称は見られなかったもので、AIを使った作品ではないことがわかったと共に、これに類似した作品も見当たりませんでした。東京オリンピックの一件もありますから、今の時代この作業は念入りに行う必要があると感じています。小学生がAIを使って作成したデザインは、ほぼすべて「これは栄村のデザインロゴで…」という言葉で出て来ます。こうしたことからしても、AIは便利なのか、不便なのか分かりませんが、著作権は全てAIやそのAIアプリを開発したその会社になってしまうような恐ろしさも感じます。

昨夜の様子を見ながら、やはり見た目だけで決めるのではなく、そのデザインを行った意味（説明）をしっかりと把握しなくてはいけないと改めて感じました。そういう意味からしてもただ村民投票を行えばいいということではなく、子どもたちへの解説文のルビや、昨夜参加された方が解説を読む時間を確保した上での投票は意味があるものだったと感じています。（ただこの紙面を読み、上のデザインを見ても、意味は多分分からないのでは？）

ほぼ最後の決定がなされる会が終了し、正直ほっとしました。課内の皆さんには今迄何度も夜の会に参加いただくと共に、準備もしっかりしていただき感謝しかありません、ありがとうございました。

